



2011年2月期 第1四半期 決算資料

スター精密株式会社

<http://www.star-m.jp>

証券コード 7718

2010年6月30日

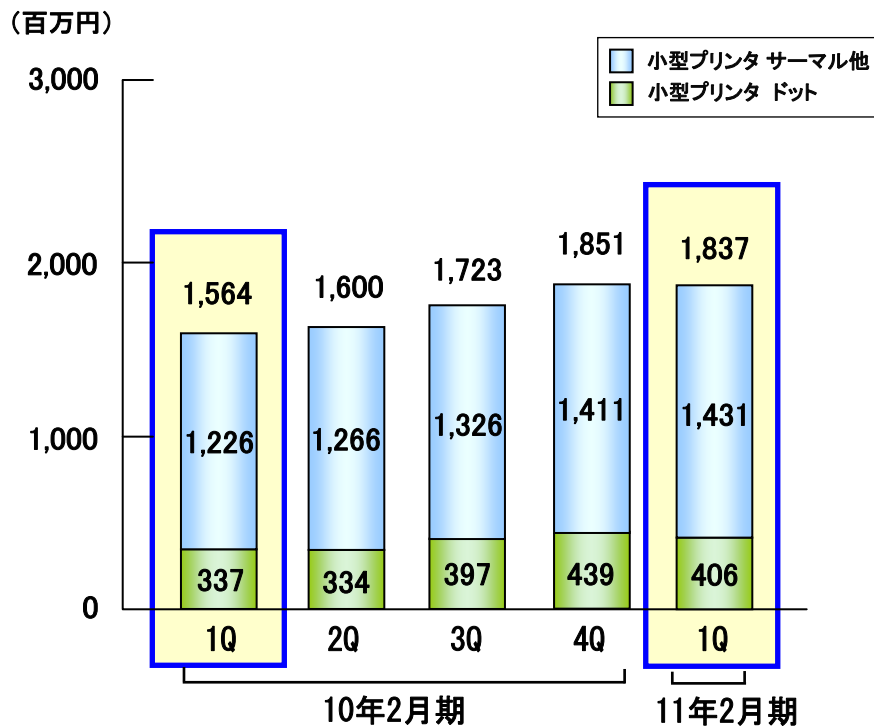
■ 財務情報	P2
■ 事業別概況	
・ 特機事業	P3
・ コンポーネント事業	P4
・ 工作機械事業	P5
・ 精密部品事業	P6
■ 参考：事業および取扱い製品	P7

(百万円)

	2010年2月期								2011年2月期		対前年同期比 (%)
	1Q実績		2Q実績		3Q実績		4Q実績		1Q実績		
	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	
売上高											
特機	1,564		1,600		1,723		1,851		1,837		17.5
コンポーネント	2,280		1,737		2,045		1,583		1,522		△ 33.2
工作機械	2,480		2,204		3,053		3,726		3,778		52.3
精密部品	587		841		976		924		1,015		72.8
合計	6,912		6,383		7,798		8,086		8,154		18.0
営業利益											
特機	△ 3	-	112	7.0	77	4.5	93	5.0	159	8.7	-
コンポーネント	△ 338	-	△ 296	-	△ 415	-	△ 475	-	△ 191	-	-
工作機械	△ 158	-	△ 306	-	△ 139	-	△ 335	-	262	7.0	-
精密部品	△ 178	-	12	1.5	56	5.8	25	2.7	140	13.8	-
消去又は全社	△ 416		△ 429		△ 453		△ 414		△ 416		
合計	△ 1,095	-	△ 908	-	△ 874	-	△ 1,106	-	△ 45	-	-
経常利益	△ 1,158	-	△ 825	-	△ 769	-	△ 1,130	-	9	0.1	-
当期純利益	△ 1,217	-	△ 1,756	-	△ 556	-	△ 5,024	-	△ 1,062	-	-

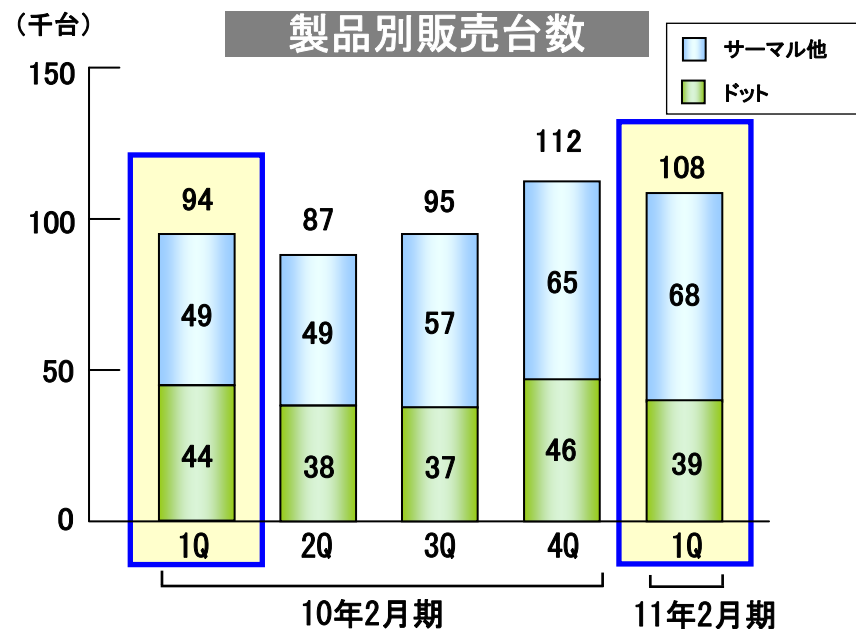
為替 レート	US\$	93.63円				90.71円
	EUR	121.84円				125.64円
	GBP	134.18円				141.79円
	CHF	81.43円				85.81円

売上高

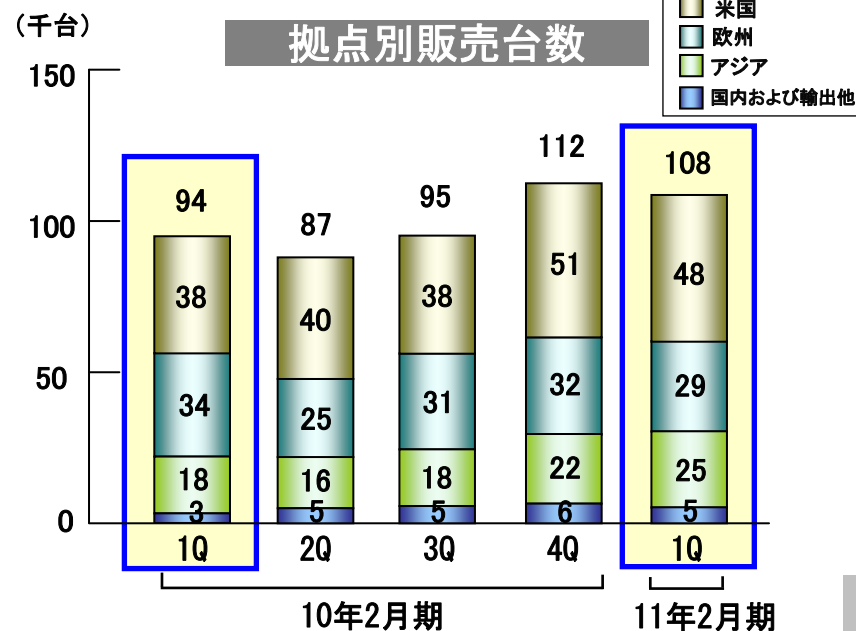


- ・ 小型プリンタは、堅調に推移している南米市場に加え北米市場でも需要回復の兆しがみられ、サーマル製品の売上がPOS市場向けを中心に増加。中国市場では、ドットインパクト製品の売上がPOS市場向けの需要増加などにより増加

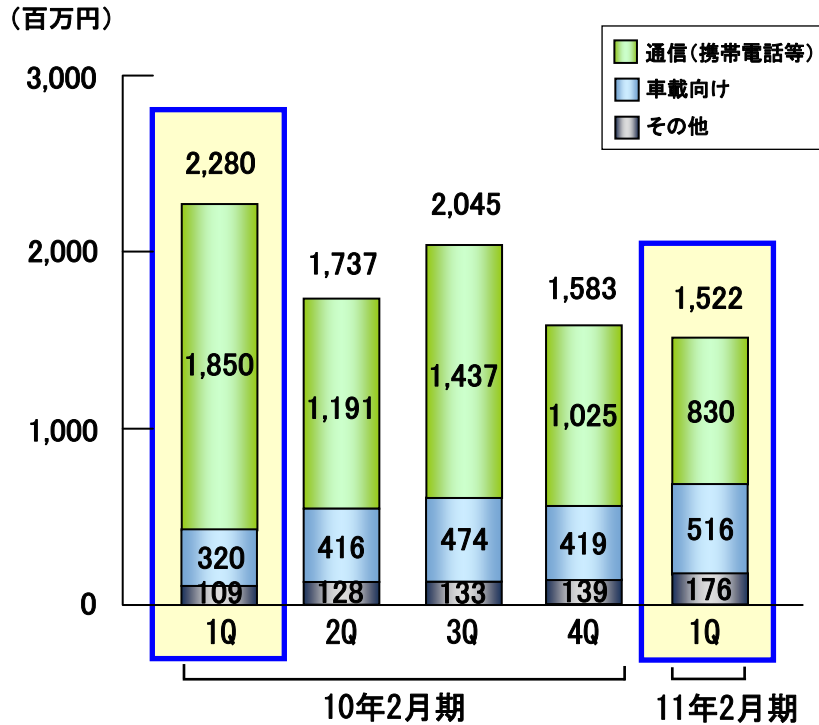
製品別販売台数



拠点別販売台数



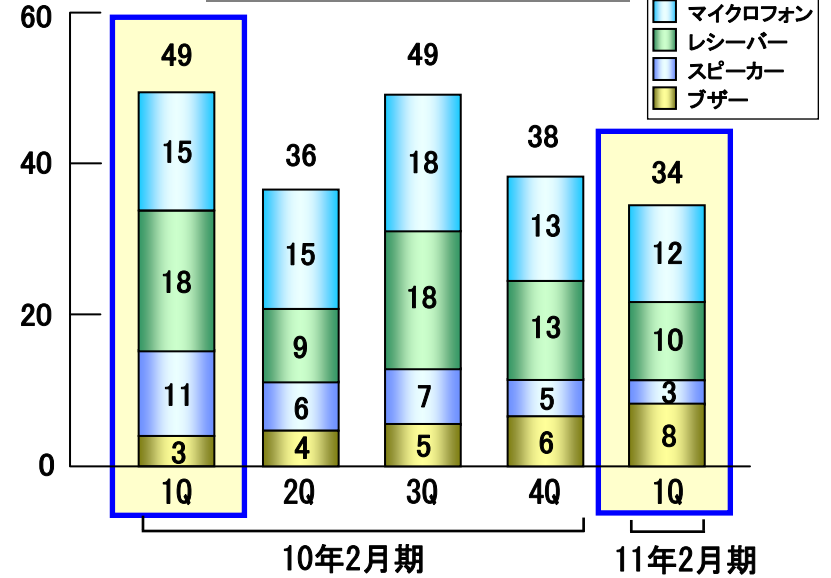
売上高



- ・ 事業の軸足を携帯電話向けから車載市場などに移しており、携帯電話向けの売上は大幅に減少
- ・ 車載市場関連では市況の回復に伴い、電子ブザーなどの売上が国内を中心に増加

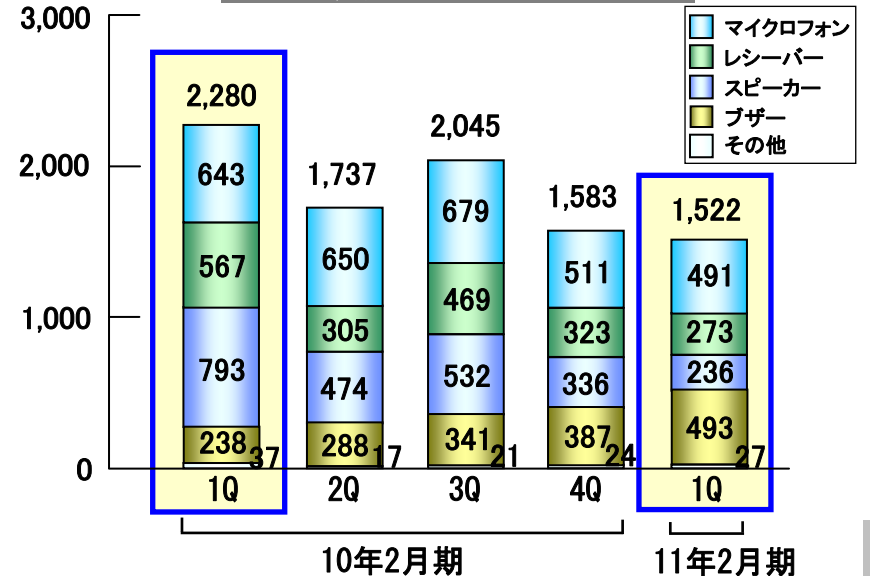
(百万個)

製品別販売数量

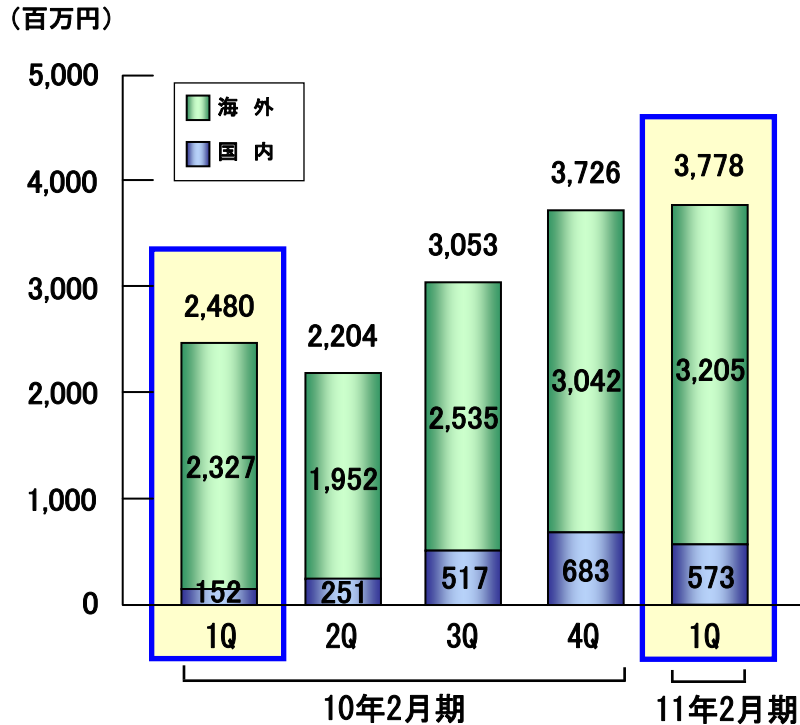


(百万円)

製品別売上高

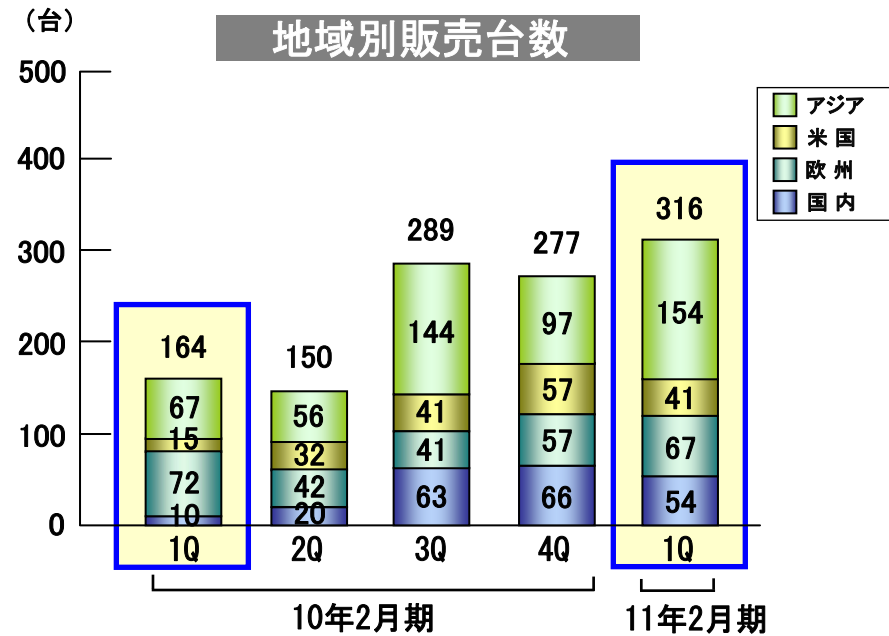


売上高

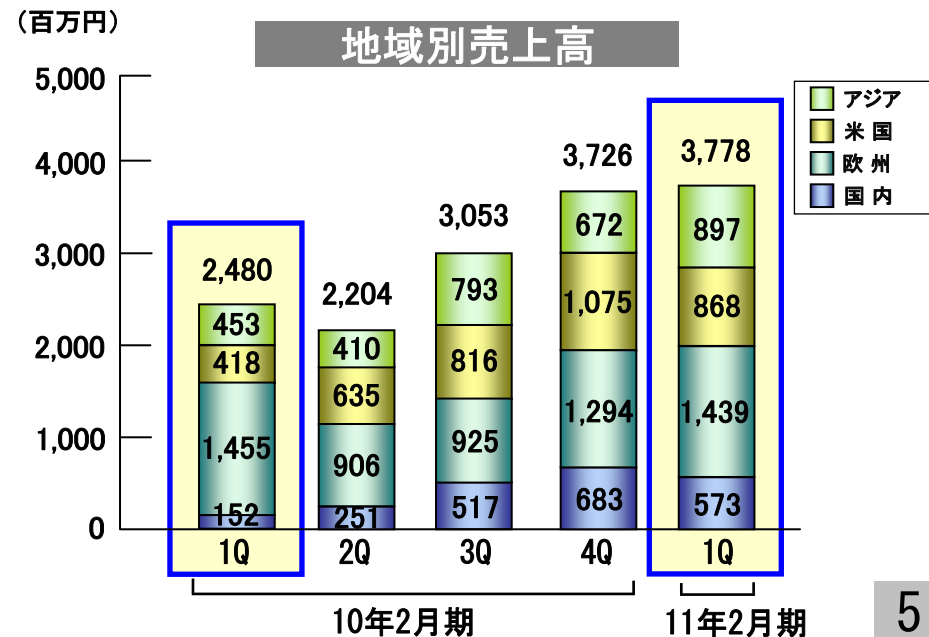


・世界的な不況による市況の底這いに回復の兆し。アジア市場では自動車、自動二輪関連先などの設備投資が増加。米国市場では状況が好転している医療関連への営業活動に注力。欧州市場も月を追うごとに受注環境が改善

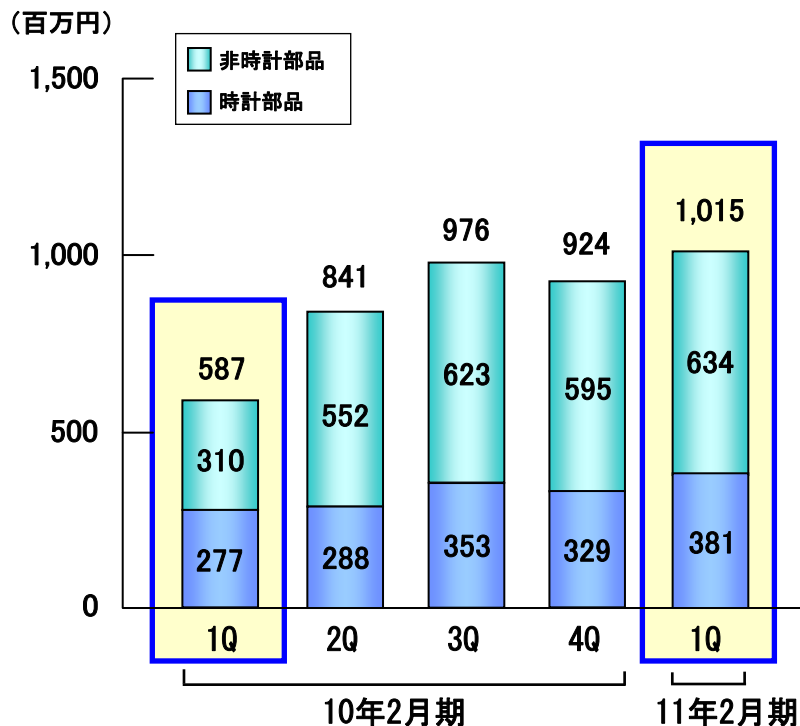
地域別販売台数



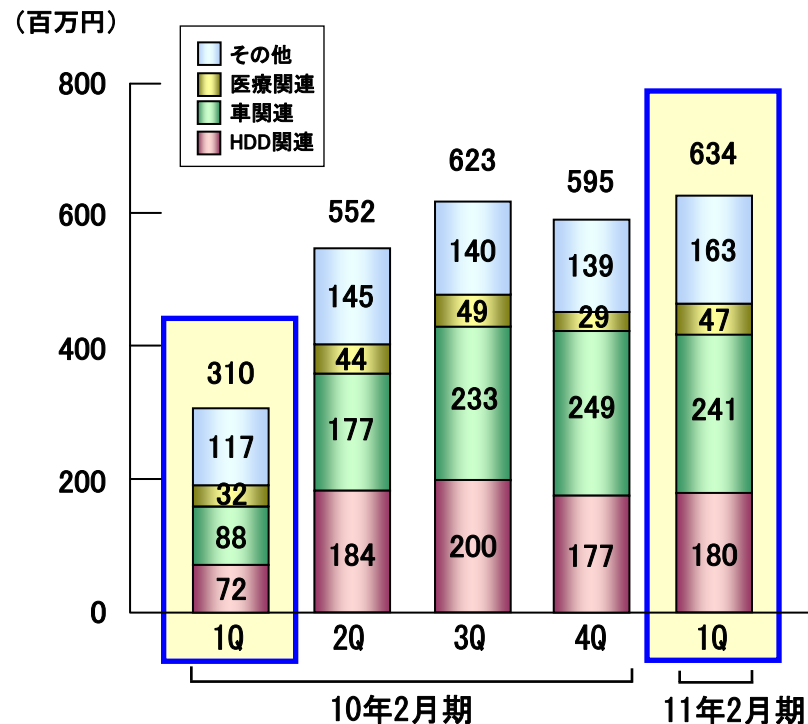
地域別売上高



売上高



非時計部品売上高



- ・ 腕時計部品は、顧客メーカーの生産調整が終了したことから需要の回復基調が継続し、売上は大幅に増加
- ・ 非時計部品は、自動車市場の回復に伴いカーオーディオ向け部品が好調に推移したほか、ノートPC向けHDD部品の売上も回復

事業	取扱い製品	
特機	小型プリンタ カードリーダーライタ	
コンポーネント	小型音響部品 (電子ブザー、マイクロフォン スピーカー、レシーバー)	
工作機械	CNC自動旋盤等 工作機械	
精密部品	腕時計部品 通信機器用・自動車 用・医療用等部品	